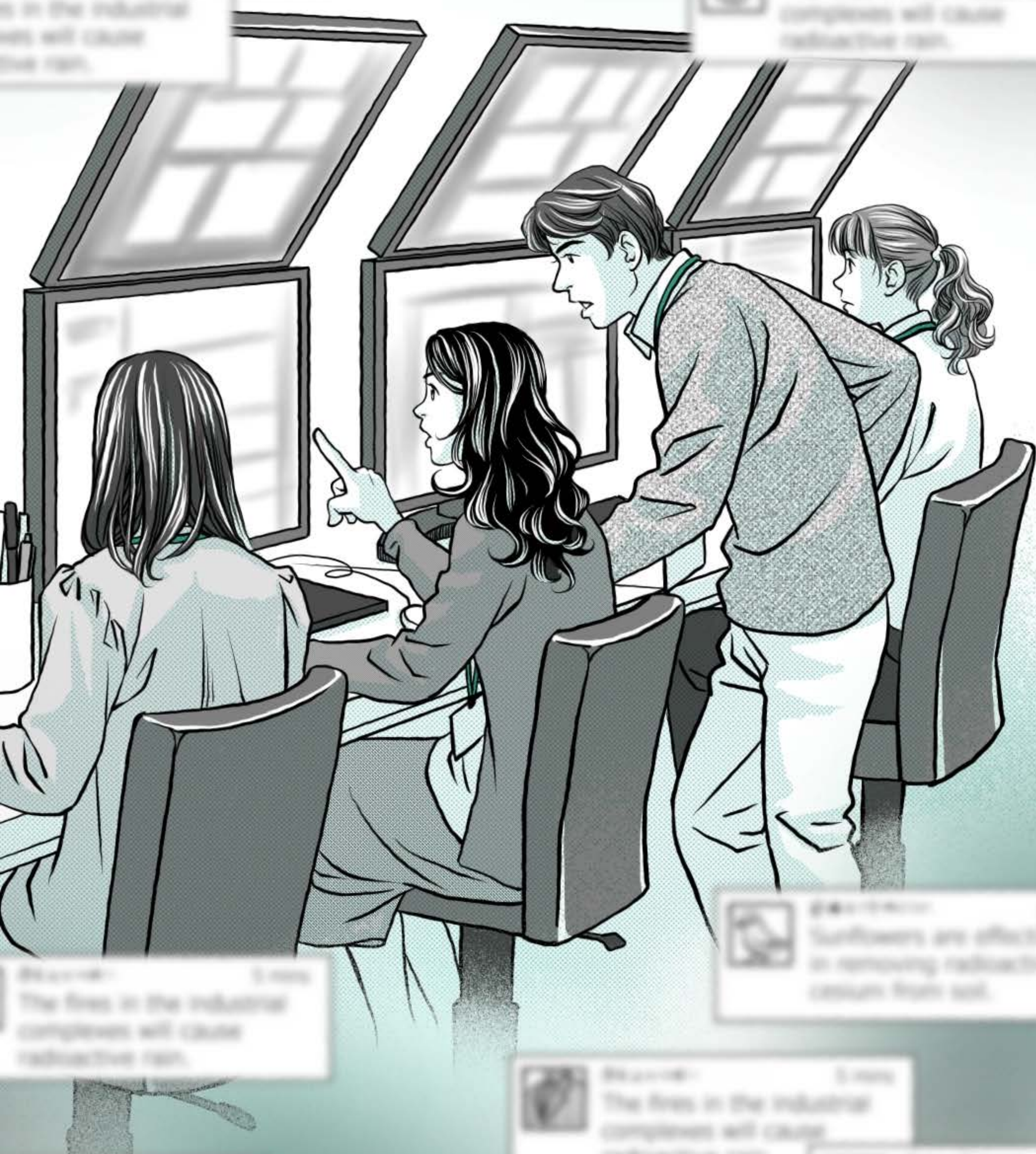
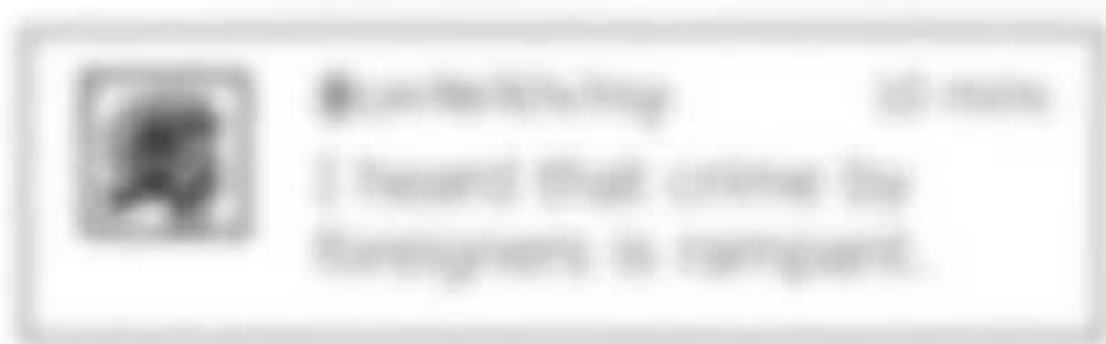


# 「噂の跡を追って」—— ソーシャルメディアに耳を傾ける



日本はその特有の地理的条件から、火山の噴火や地震、津波などの自然災害に見舞われることも珍しくありません。



Remember:  
Always stay calm in  
emergencies and follow  
instructions.



Remember:  
The flow in the industrial  
complexes will change  
reflecting the risk.



Remember:  
The flow in the industrial  
complexes will change  
reflecting the risk.



こうした災害につきものの混乱は、誤報や偽情報が急速に拡散されることでさらに悪化します。

2011年、福島原子力発電所に甚大な被害をもたらした一連の自然災害の後、ツイッター（現X）にはデマが氾濫しました。



当時、日本の公共放送であるNHKは、ソーシャル・メディアでのニュース発信を監視するために担当者を1人配置していました。

NHKがネット上の誤報や偽情報に対抗する準備ができていないこと、そしてニュースを読む習慣が転換期にあることは明らかでした。

我々はソーシャル・メディアに目を向けて、時代に遅れないようにする必要があるな

足立義則氏  
NHKデジタル・コンテンツ制作担当デスク



災害時には「情報の空白」が生まれることがあります。インフラの損壊や停電のほか、記者が立ち入れない地域が発生することなどが原因です。

まだ電話がつかない

30人が〇〇市の公民館に取り残されています。助けてください！

100人が〇〇ビルの屋上で救助を待っています

305 2K 5K

有料インプレッションを稼ぐチャンス！

助けてあげてほしい…！

repost

repost

repost

このような時、デマが人々を混乱させ、重要な情報の妨げとなってしまいます。

ソーシャル・メディア上のデマの被害を最小限に抑えるため、NHKは2013年にソーシャル・リスニング・チーム「SoLT」を発足させました。



このチームでは現在、約60人のスタッフが24時間365日体制でソーシャル・メディアを追跡しています。

チームが特に注目しているのはXです。日本はXの世界第2位のユーザー国で、6,000万人以上が利用しているためです。ポスト、シェア、リポストが日常生活の大部分を占めています。



では、SoLTの活動内容と、放送メディアとの連携についてご紹介しましょう



1) SoLTメンバーが  
ソーシャル・メディア  
を監視し、一次情報を  
収集する。



2) ニュース性があると  
判断した場合、その最  
寄りにあるNHK放送局  
に即座に連絡する。



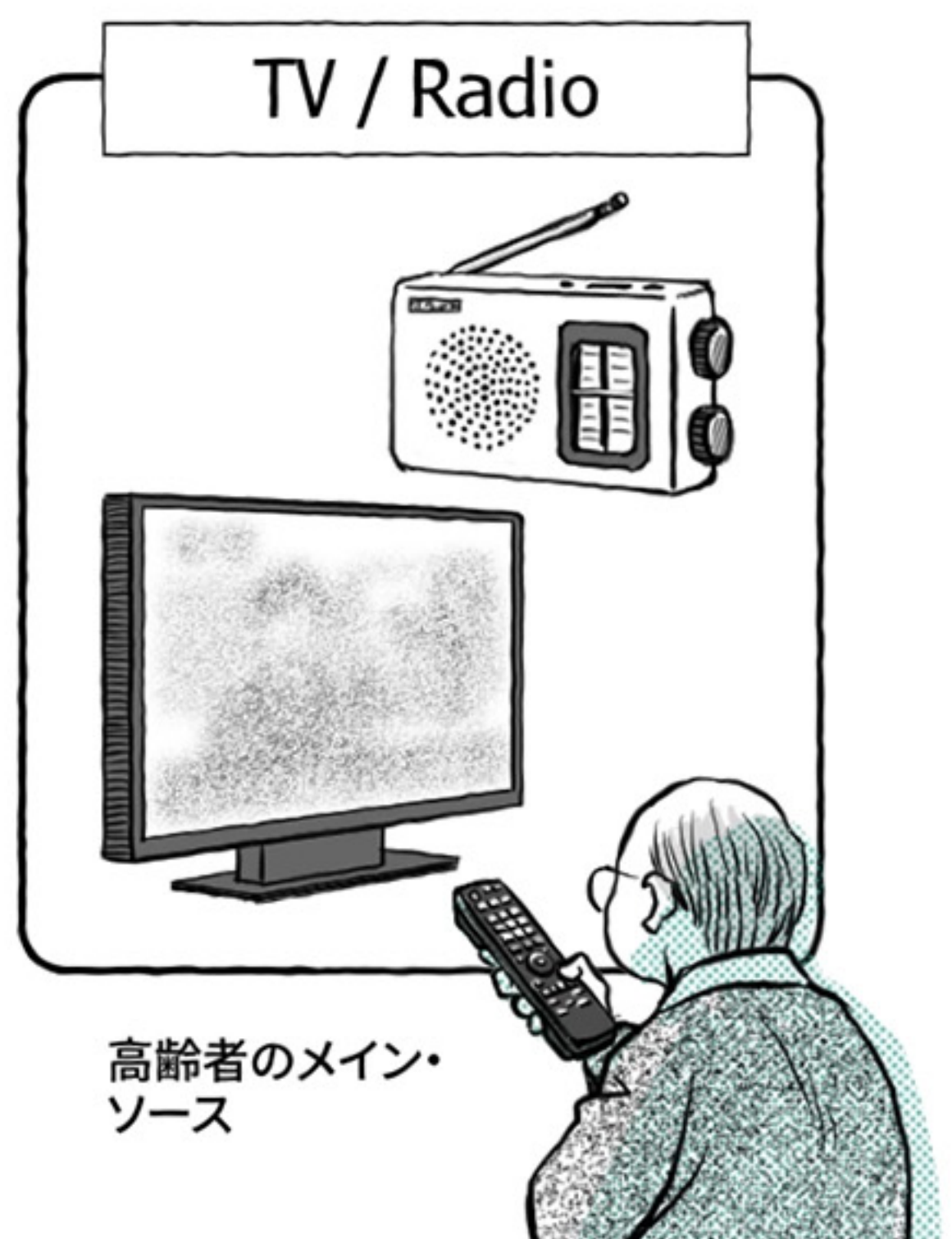
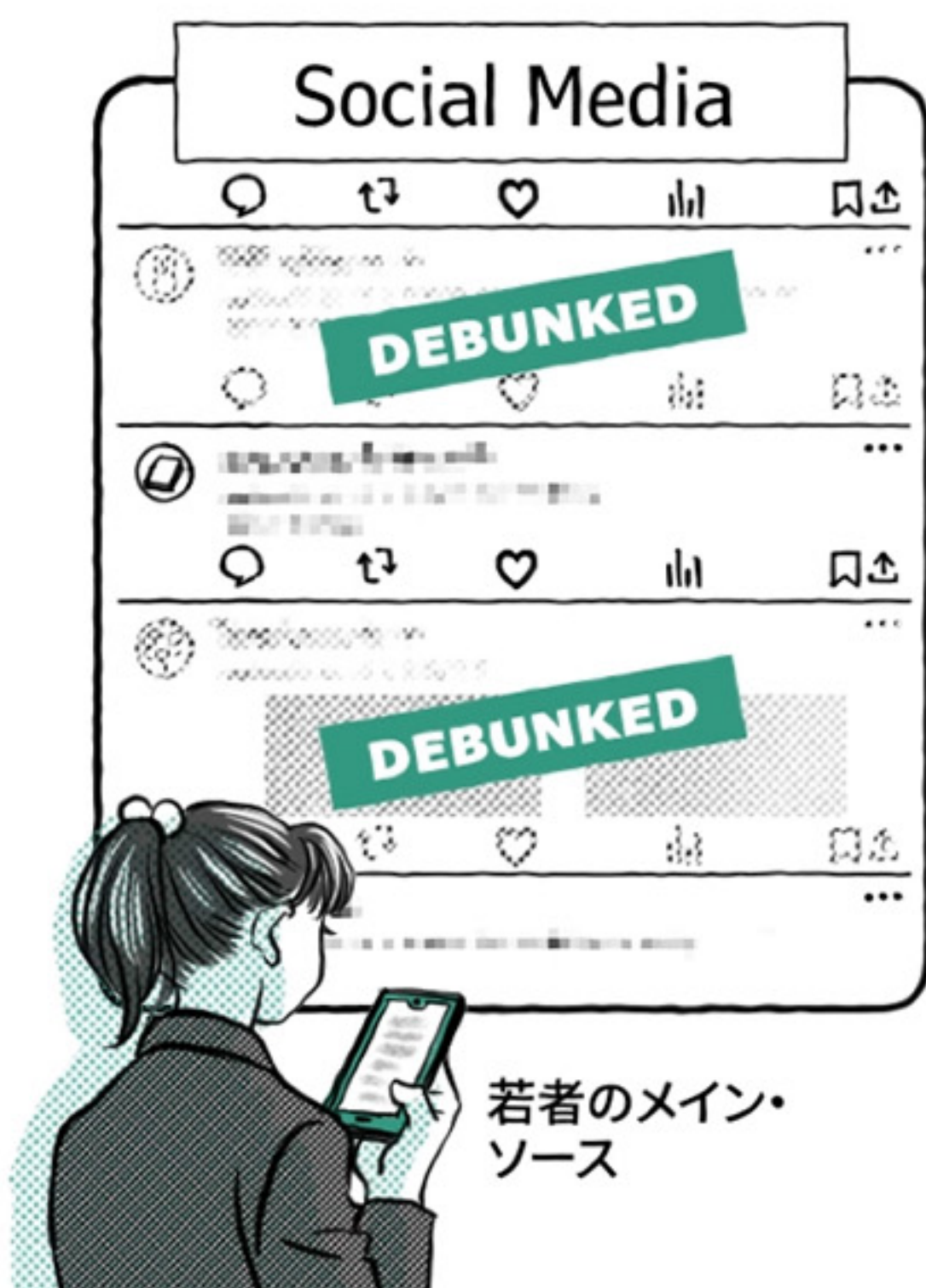
3) 連絡を受けた放  
送局が記者を派遣  
し、情報収集と検  
証を行う。



4) 検証された事実が、テ  
レビやラジオ、ソーシャル・  
メディアの各チャンネルで  
報道される。

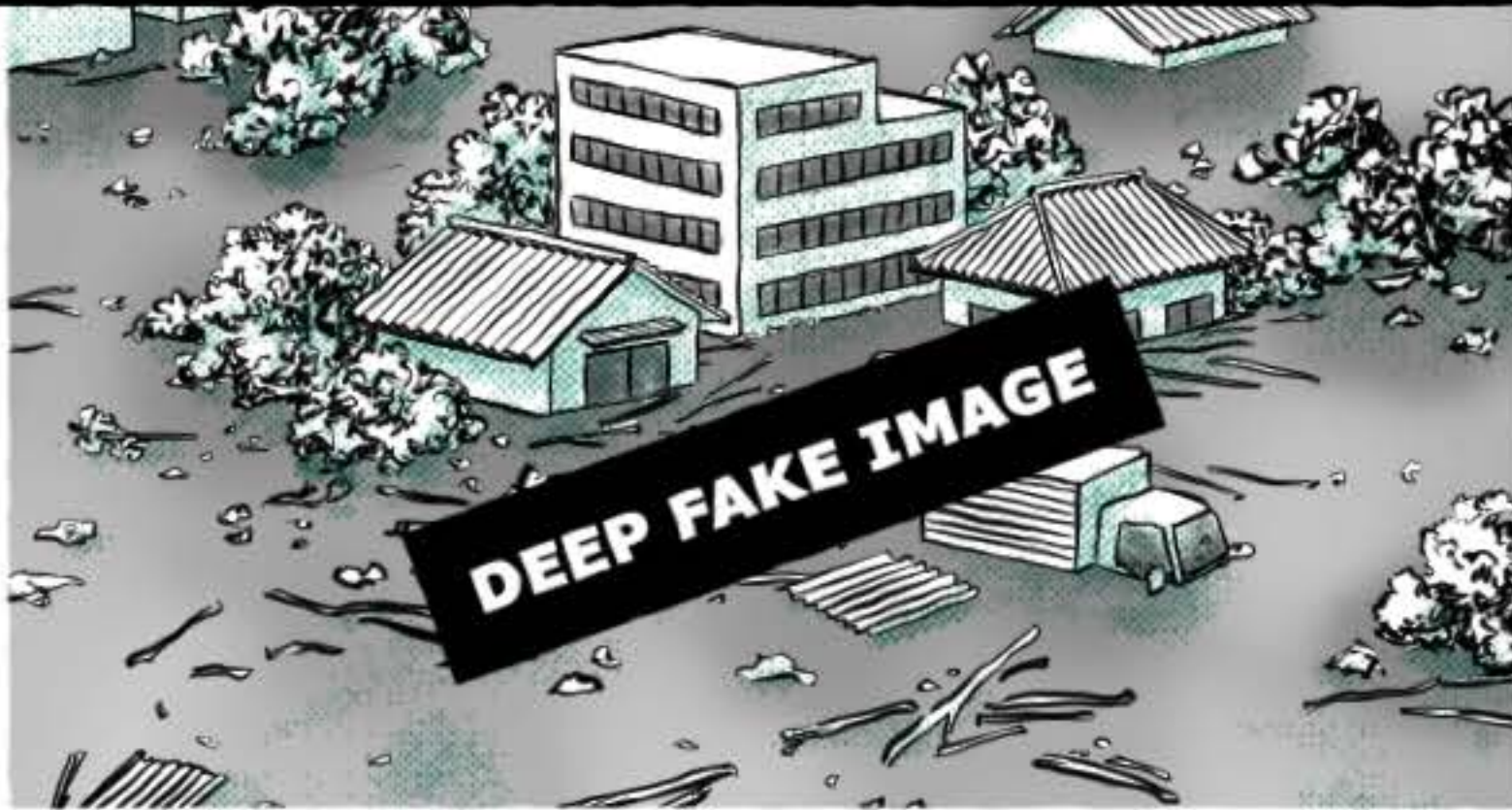


このような連携のもと、SoLTはデマと戦いながらリアルタイムで検証された事実を報道することで、メディア・プラットフォームとユーザーとの間のギャップを縮めています。





技術の進歩によって、デマ  
と事実を見分けることが難  
しくなっています。



4:39 PM • Sep 26, 2022 •

3.6K Retweets

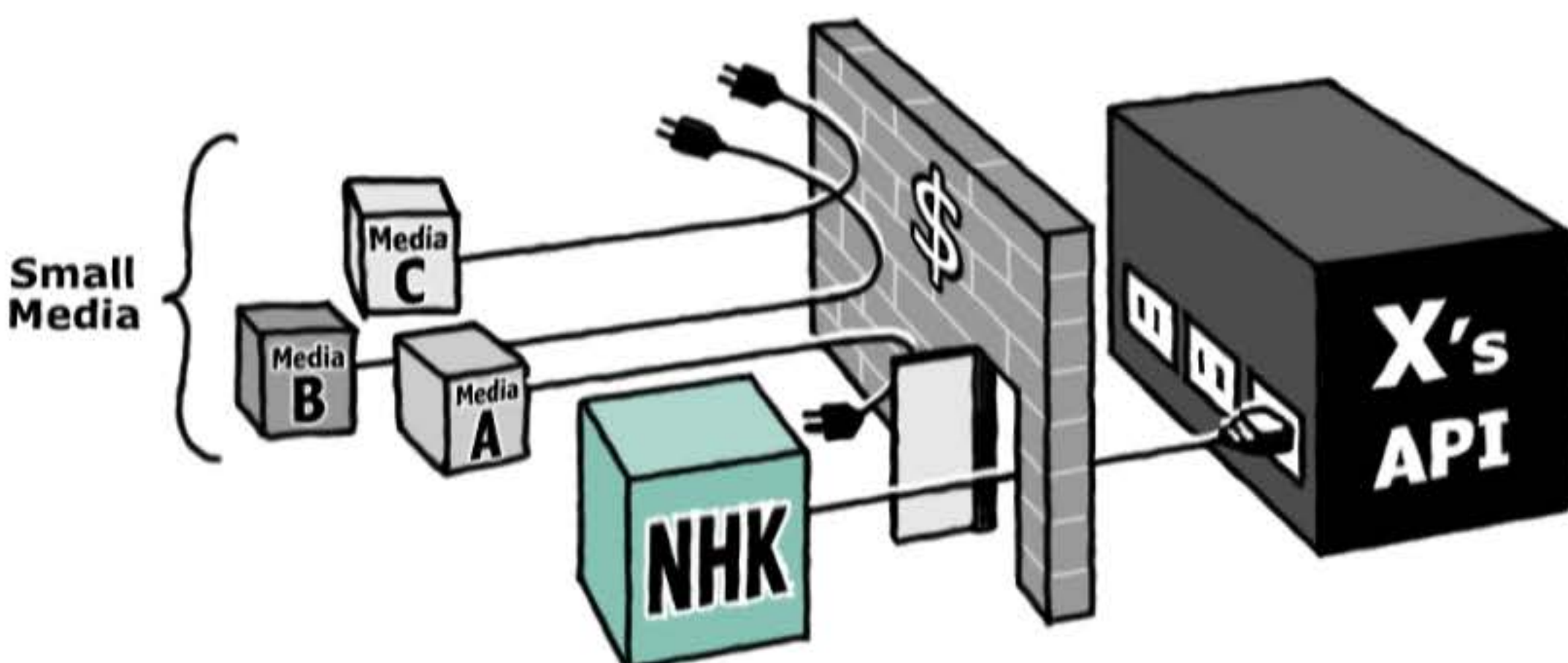
1.9K Quotes

5.4K Likes

2022年には、静岡県で発生した台風に関するディープ・フェイク画像が、偽物だと特定される前に拡散されました。AIが生成したその画像は、浸水する市街地の様子を映し出したものでした。

とめどない情報の流れに対応するため、SoLTではXの検証インターフェースに頼っています。

2023年、XがそのAPIへのアクセスを有料化したことで、利用できるのはNHKのような大手メディア企業だけになりました。



SoLTのノウハウを活用するため、SoLTとテレビやラジオの報道機関との連携が日常的に進められています。



情報の入手方法が変わっていく中で、私たちもその変化に対応しなくてはなりません



噂の跡を追って

Search



**GOETHE  
INSTITUT**